

石光商事グループ「サステナビリティ方針」

石光商事株式会社ならびに石光商事グループは、「環境方針」（2022 年 4 月制定）を改め、新しく「サステナビリティ方針」を開示させていただきます。

本「サステナビリティ方針」は、従来の「環境方針」に加え、「社会」「人権」に対する方針を付加し、地域社会や人権を含めた環境保全と産業発展の共存に力を注ぎ、持続可能な社会を目指します。これまで通り、脱炭素社会の実現に向けた環境施策の構築やエネルギー利活用、資源循環社会に向けたサーキュラーエコノミーへの取り組み、地球環境保全、生物多様性保全など様々な項目の方針はもとより、長期的な視野を持って以下のサステナビリティ方針を定め実行します。

「サステナビリティ方針」基本理念

石光商事株式会社ならびに石光グループ各社は、原料調達から消費までのバリューチェーンを構成する世界のパートナー企業やステークホルダーと共に、「環境」「人権」「社会」の課題をマテリアリティとして、持続可能な社会を実現するために、事業を通じて貢献します。そしてそれらを開示することで、ステークホルダー、社会との相互理解に努めます。

1. 環境法令遵守

- ・法令遵守

事業展開する国と地域の環境保全や人権に関する法規制、国際的宣言、規約、条約などを遵守する。

2. 脱炭素社会への取組

- ・気候変動対策

脱炭素社会に向けた温室効果ガス排出削減策として、再生可能エネルギーの利活用、エネルギー効率化、再生エネルギー創電を世界のパートナー企業と共に促進し、気候変動に貢献する商品の開発に努める。

- ・温室効果ガス排出削減

メタネーション、再生可能エネルギーの利用など環境負荷の小さなエネルギー利用への転換を促進し、温室効果ガス削減目標に準じた推進に務める。

3. 循環型社会と環境汚染予防への取組

- ・資源循環推進

限りある資源の効率利用、廃棄物の削減に加え、廃棄物の新たな資源化を推進し、資源循環に努める。

- ・環境汚染防止と環境保護

世界のパートナー企業やステークホルダーと共にあらゆる施策を通じ、水・大気・土壌などの環境汚染予防のために適切な活動を行い、地球環境保全に努める。



4. 自然共生社会への取組

- ・生態系保全・生物多様性保護

世界のパートナー企業と共に生態系保全に努め、生物多様性への理解を深めることを目指す。

- ・水資源の保全

世界のパートナー企業と共に水資源の有効利用に努め、使用量削減、適切な処理を目指す。



5. 環境教育推進とサステナビリティマネジメントシステムの継続的改善

- ・環境教育推進

世界のパートナー企業、ステークホルダーと共に、環境課題、解決方法の共有を行い、人材育成と共に意識の醸成に努める。

- ・サステナビリティマネジメントシステムによる継続的改善

環境・社会・人権における自社の課題を抽出し、サステナビリティマネジメントの方法により、課題解決を図り、継続的見直しと改善に努める。



6. 地域社会貢献への取組

- ・地域との共生

地域社会を含むステークホルダーと共に社会課題を抽出し、解決策を導き、持続可能な社会構築に取り組む。



7. 人権を尊重する社会構築

- ・人権と多様性の尊重

世界のパートナー企業、ステークホルダーと共に多様な社会形成に努め、包括的社会の実現に向けて取り組む。



2023 年 5 月改定